

## 「蔵ファン始めます」、日本酒と丹波篠山の魅力を発信 兵庫・狩場一酒造が“蔵のファン作りプロジェクト”始動！ 1月5日(金)～募集開始、30代の若手社員2人が立ち上げ

狩場一酒造株式会社(住所:兵庫県丹波篠山市、代表取締役社長:狩場 一龍)は、日本酒と丹波篠山の魅力を発信するプロジェクト「蔵ファン」を立ち上げ、2024年1月5日(金)からメンバーの募集を開始します。メンバーに加入いただくと日本酒「秀月」をご自宅にお届けするほか、蔵で開催する「蔵ファン」メンバー限定のイベントに参加していただけます。



若手社員2人が立ち上げる「蔵ファン」



創業100年を超える狩場一酒造

### ■クラファン?ではなく「蔵ファン」、日本酒を通して地域活性化目指す

当社は、1916(大正5)年の創業以来、100年以上にわたり丹波篠山市で酒造りを続けてきました。蔵に併設する直売所「秀月庵」で約8割の日本酒を販売するほど、地域の方に飲み継がれてきました。日本酒は全て、3代目の蔵元が名付けた「秀月」というブランドで、純米大吟醸、特別純米酒、本醸造、普通酒など10～15種類の定番商品と季節限定商品をご用意しています。

売り上げはピーク時の2015年と比較し、現在は5%減程度にとどまっていますが、丹波篠山市周辺地域の人口減や高齢化、酒の多様化に伴う日本酒離れ、コロナ禍の飲食店の需要低迷などの影響で、日本酒の消費量は減少の一途をたどると予想されます。そこで今回、30代の若手社員2人が中心となり、日本酒や丹波篠山の魅力を発信するプロジェクト「蔵ファン」を立ち上げ、地域活性化を目指します。

特に丹波篠山市周辺在住の若い世代の方に「蔵ファン」に参加していただき、日本伝統の酒造りを次の世代に引き継ぐ仲間として、メンバー間の交流も築いていただきたいと思います。

### ■「蔵ファン」詳細

募集期間：2024年1月5日(金)～2月10日(土)

価格：40歳以上=15,000円 20～39歳=10,000円 ※価格は税込みです

販売数：50口

- 特典：①しぼりたて生酒(720ml)(2月イベント時にお渡し、または発送)  
②夏酒(720ml) + オリジナルTシャツ(7月イベント時にお渡し、または発送)  
③2月10日(土)・11日(日)開催 酒蔵見学会・新酒試飲・しぼりたての日本酒の瓶詰め体験  
④5月開催予定 大蔵試飲会・丹波篠山市で活動する工芸作家との交流  
⑤7月・11月開催予定 地域の飲食店とコラボした日本酒講座(料理代は別途)  
⑥蔵ファン通信(会報誌)の送付(3カ月に1回程度)

※イベントは1口に付き大人2人まで、未成年は何人でも参加可能 1年ごとに更新(要年間費)

販売：秀月庵店頭、狩場一酒造オンラインショップ(<https://syuugetu.jp/products/>)、電話(079-595-0040)

### < お問い合わせ >

【メディアの方】 狩場一酒造広報事務局 担当:岡本・田村 TEL:06-4708-3766 EMAIL:pr@raple.co.jp

【一般の方】 狩場一酒造株式会社 担当:岡村 TEL:079-595-0040 EMAIL:syuugetu@aurora.ocn.ne.jp

## ■「蔵ファン」を立ち上げる若手社員のご紹介

【プロジェクトにかける意気込み】今回の取り組みを通して、秀月だけでなく、日本酒や丹波篠山をより好きになって頂きたいと思っています。そのためにイベントには、地域の工芸作家の方や、日本酒について詳しい方を講師として招待することを、計画しております。蔵ファンに参加することで、新しい知識や経験を得て、さらに人と人の繋がりが生まれていくように、企画や情報発信を考えていきたいと思っています。

・前原尚人(37歳) 製造担当  
1986年11月2日生まれ 神戸市出身  
和歌山県の酒蔵にて酒造りを始め、現在、血筋の故郷である丹波篠山で日々邁進中  
好きな芸能人: ケンドーコバヤシ  
好きな日本酒: 遊穂  
好きなアテ: とびこ  
座右の銘: 人生とオムレツはタイミングが大事(王様のレストランより)

・岡村寛治(33歳) 販売担当  
1990年4月27日生まれ 養父市出身  
転職をきっかけに酒造会社を探し、狩場一酒造に入社

好きな芸能人: 佐藤浩市  
好きな日本酒: 秀月  
好きなアテ: 焼きたらこ  
座右の銘: Never too old to learn)



前原尚人(左)と岡村寛治(右)

## ■「秀月」について

「秀月」は、稲の穂が垂れている状態を表しているという象形文字の「秀」と、丹波篠山に出る月が特にきれいだと感じた3代目によって名付けられました。全体的に香り控えめで、味わいがしっかりとあり、食中酒に適しています。問屋や卸売りを通さず、お客様と直接交流できる直売所を軸に、地域の飲食店や土産店、兵庫県内の酒販店4店舗で販売しています。

### 【受賞歴】

- ・第102回(2023年)丹波杜氏組合 自醸酒技能審査会 純米酒の部 兵庫県産業労働部長賞
- ・全国燗酒コンテスト2023 お値打ち熱燗部門 金賞「秀月上撰酒」

## ■酒造りのこだわり

杜氏が創業した蔵として、現在4代目が引き継ぐ。「人の体にも心にもやさしいお酒」を目指し、現在年間300石(一升瓶3万本相当)を製造しています。近代的な設備を取り入れながらも、昔ながらの設備を大切に使い酒造りを行っています。搾りは、昔ながらの八重垣式の機械を使い、通常は半日ほどで終える作業も丸一日かけて行っています。

### 【自然】

丹波篠山市は兵庫県内でも標高が高く、蔵のある場所の標高は約200mです。まわりを山に囲まれた盆地で、冬の冷え込みは酒造りに適しています。

### 【水】

武庫川水系最上流の波賀野川の水を仕込み水として使用。弱軟水の水を酒造りに使うと、日本酒が柔らかな飲み口に仕上がります。

### 【酒米】

全量、吟醸クラスの精米歩合60%以下で統一。兵庫県産山田錦をはじめ、五百万石、HYOGO SAKE 85、日本晴を使用。



地元で栽培された酒米を使用



手間ひまをかけ丁寧につくる

## ■会社概要

社名: 狩場一酒造株式会社  
代表者: 代表取締役社長 狩場 一龍  
本社: 兵庫県丹波篠山市波賀野500  
創業: 1916(大正5)年  
HP: <https://syuugetu.jp/>  
事業内容: 酒造業、直売所「秀月庵」運営など

貴社媒体での掲載のご検討をお願い申し上げます。ご不明な点がございましたらお気軽にお尋ね下さいませ。

### < お問い合わせ >

【メディアの方】 狩場一酒造広報事務局 担当: 岡本・田村 TEL: 06-4708-3766 EMAIL: pr@raple.co.jp  
【一般の方】 狩場一酒造株式会社 担当: 岡村 TEL: 079-595-0040 EMAIL: syuugetu@aurora.ocn.ne.jp